

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 1 区分

【発行日】平成 25 年 3 月 7 日 (2013.3.7)

【公表番号】特表 2012-515429 (P2012-515429A)

【公表日】平成 24 年 7 月 5 日 (2012.7.5)

【年通号数】公開・登録公報 2012-026

【出願番号】特願 2011-546373 (P2011-546373)

【国際特許分類】

H 0 1 R 12/71 (2011.01)

【F I】

H 0 1 R 12/71

【手続補正書】

【提出日】平成 25 年 1 月 15 日 (2013.1.15)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 8 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 8 1】

図 1 1 C - D を参照して、代りの実施例は、接点 1 9 1 に関して上に記述されているように、通常に構成された 1 対の接点 1 9 1 ' を示しているが、1 対の横方向に分離された半分に分割されたように示している。したがって、各接点 1 9 1 ' は、主本体部分 2 0 0 '、本体部分 2 0 0 ' の一方端に配置され、さらに基板に取付くように構成された、横方向に延びるマウンティング端部 2 0 2 '、および、本体部分 2 0 0 ' の対向する端部に配置された結合端部 2 0 4 ' を有する。例証された実施例において、マウンティング端部 2 0 2 ' は、4 つの尾部 2 0 3 ' を有するが、1 より大きい（例えば、少なくとも 2 つの、少なくとも 3 つの、または 4 つ以上）か、または 1 に等しい、あらゆる数の分離ブレードが、熟考される。結合端部 2 0 4 ' は、4 つの分離したブレード 2 0 6 ' を有するが、1 つより多い（例えば、少なくとも 2 つの、少なくとも 3 つの、または 4 つ以上）か、または等しい分離したブレードのあらゆる数が、熟考される。2 つの単一对応バス 2 9 6 の対応する 1 つに取付けられた 2 対の接点尾部 2 0 3 ' のそれぞれを備えた第 1 電力接点 1 9 1 は、2 対の接点尾部 2 0 3 ' を有することができる。図 1 1 C に示されるように、2 つの単一の対応するバス 2 9 6 は、水平パネル 7 1 A によって相互に電氣的に接続することができ、または相互から電氣的に絶縁することもできる。分離したブレード 2 0 6 ' は、それぞれ、水平パネル 7 1 A から延びることができる。接点尾部 2 0 3 ' は、均等に、スロット、エッジカード、または接点受入れスペース 2 0 7 （図 1 2 A）に平行な方向に沿って相互から別に間隔をおくことができる。